

# 2018年度 事業実施報告書

(事業報告書の順に記載)

情報部会

---

生物多様性保全部会

---

里山保全部会

---

再生可能エネルギー部会

---

その他の活動

---

学習センター事業部

---



指定管理者として運営する宇都宮市環境学習センターは累計利用者50万人を達成

## 情報部会

### 1) ホームページの運用 <http://kankyokoudouforum.jimdo.com/>



ホットな情報がアップされたホームページ

2014年度末にホームページを全面改訂し、よりタイムリーに情報発信できる仕組みになりました。  
2018年度もフォーラムの活動を積極的にアップし、会員の皆さまへの情報提供につとめました。(情報アップ回数70回/年と過去最高)引き続き身近な情報発信に努め、会員の情報共有を進めてまいります。

### 2) 会報誌 (Eco together) の発行



年間4回、6・9・12・3月に57～60号を計画どおり発行しました。  
部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい構成に心がけました。「フォーラム会員のリレートーク」は、毎回会員が登場してそれぞれの環境への想いを語るもので、なかなか読みごたえのある記事です。新企画としてスタートした記者の目「子育てママのひとこと」は、新鮮な切り口で情報発信します。  
今後も、親しまれ機能する会報を目指し、改善を進めていきます。

### 3) 環境イベントへの参画

#### ① もったいないフェア2018 9月30日(日)計画

<< 荒天のため中止となりました >>

#### ② エコテック&ライフとちぎ2018

12月2日(日) 10:00~16:00

マロニエプラザ(元今泉)

来場者総数 約2,000人

(フォーラムブース体験者数69人)

県内最大のエコの祭典とも言われるこのイベントは「ひろがれエコ行動の輪」をテーマに、多彩な内容で開催されました。今年度から開催日数が2日間から1日に短縮されました。フォーラムの紹介、環境学習センターの紹介、そして体験教室として昨年に続き、風力発電をテーマに「風はなぜ吹くのだろう?」「風速計つくりと実験」を再生可能エネルギー部会が担当しました。扇風機で風速3m/sの風をつくり、正しく指示するよう風速計のフラップを調整する実験は大人気でした。



人気の風速計つくり子どもたちは夢中

## 情報部会 (つづき)

### ③ 環境学習センターチャレンジもったいない2018

8月25日(土) 10:00~15:00

宇都宮市環境学習センター(茂原町)

来場者総数 732人

(フォーラムブース体験者数68人)

フォーラムが運営する環境学習センターで開催された「チャレンジもったいない2018」に、今年も再生可能エネルギー部会がブース出展しました。

今年は、風を感じようとアルソミトラ型グライダーと紙コプターづくりです。簡単につくれ実験もできるのでとても人気でした。また同時に、水素の燃料電池車とソーラーカーの模型を走らせました。水素をつくる実験から始まり、その水素で模型を走らせる場面を子どもたちは強く印象に残ったようです。



グライダーづくりに一生懸命



水素はこうやって作るよ



水素を補給して走行!



グライダー飛行実験

### ④ 環境学習センターエコまつり2019

3月2日(土)~3日(日) 10:00~15:00

宇都宮市環境学習センター(茂原町)

来場者総数 2,418人

(フォーラムブース体験者数98人)

フォーラムが運営する環境学習センターの最大イベント「エコまつり2019」が開催され、再生可能エネルギー部会がブース出展しました。

今回は、「カモメすいすい」づくりです。ペットボトルを使ってゴムのちからでカモメがゆっくりとまわるもので、とても楽しい工作でした。



楽しい工作に子どもたちがいっぱい

### ⑤ 環境学習プログラム制作に情報提供

3月 プログラム発行

フォーラムは、栃木県地球温暖化防止ネットワーク会議(事務局:県地球温暖化防止活動推進センター)のメンバーとして、「とちぎ版環境かるた環境学習プログラム」の制作に参画し、情報を提供しました。特に、再エネ部会が制作した地球温暖化防止パネル11枚の情報提供は有効でした。

これからも地域環境団体との情報交流に努めていきたいと思います。

【テーマ:地球温暖化】



制作した環境かるたの一例

各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業  
**生物多様性保全部会**

2017年度、生物多様性保全部会は新しく部会長を迎え新しい企画にチャレンジ大きな反響を得ました。今年度も、生物多様性という難しいテーマに、次代を担う子どもたちにスポットをあてて「親子で楽しく自然体験」プログラムを、宇都宮共和大学・自然観察サークルの全面的な支援をいただき実施しました。

**子どもたちに期待すること**

- 自然の大切さや、おもしろさを知ろう
- 生きものの つながりを知ろう
- 自然からの めぐみを感じよう
- からだの五感を使って、楽しみながら自然への興味、関心をもとう

**☆ミヤラジ出演☆**

活動実績を紹介しました。

**☆壁新聞制作☆**

1年間の活動を壁新聞に  
まとめ、掲示しています。

① **第1回「親子で楽しく自然体験」燃えた！**

8月21日（火）、環境学習センターで開催、17家族56人の参加がありました。暑い中、燃える2時間を体験しました。第1部は虫捕り、親子でもう夢中です。捕まえた虫を地面に広げたピラミッドシートに並べ、生きものつながりを学びました。第2部は自然の鉱物（ベンガラ）を使ったトートバックの泥染め体験です。



事前の予行演習で、しっかり準備をしました



この虫は何を食べる？何に食べられる？と並べていきます

② **第2回「親子で楽しく自然体験」発見がありました**

2月10日（日）、環境学習センターで開催、9家族40人の参加がありました。前日の雪で、室内活動になりました。第1部は動物発見ラリーやエプロンシアターで生きものつながりを学びました。第2部はまゆでつくる起き上がりコボシと木の実で飾るキャンドルづくりです。



出来上がった作品をみんなで確認



アリのエプロンシアターで生きものつながりを勉強



## 里山保全部会

### 本プロジェクトで実施すること

1. 雑木林の清掃（ごみ等の除去）
2. 雑木林の笹や倒木の整理
3. 雑木林の下草刈りと落ち葉さらい

### 本プロジェクトにより得られるもの

1. きれいになってゆく雑木林の景観
2. 枯れ木の中や落ち葉の下に棲む虫の観察
3. カブトムシやクワガタの発生
4. きこの発生
5. 春植物の復活
6. 望ましい姿で存在する雑木林の拡大

### ① 里山の定例保全活動 <毎月第3日曜日>

今年度も一般参加者が多く、楽しい保全活動が実施できました。合計参加人数161人（一般参加者含む）

月	主な作業	参加人数
4	立ち枯れした危険な木を倒す	3
5	大規模な笹刈り	18
6	池の大掃除	16
7	東側道路法面の雑草刈り	8
8	先月の続き+ロープワーク	9
9	風で落下した小枝集め	10

月	主な作業	参加人数
10	林入口付近の雑草刈り	14
11	雑草刈りと枯れた木の倒し	5
12	落ち葉さらいと焼きいも	16
1	落ち葉さらいと焼きいも	20
2	エコクラブと落ち葉さらい	33
3	落ち葉さらいと池清掃	9



池の清掃です



道路法面の雑草刈り



集めた落ち葉を踏み固めて

### ② みずほの自然探検隊（環境学習センター支援事業）

1年を通して親子で雑木林で活動し、季節の変化を知り、林の手入れ、遊びを体験しました。

合計参加人数183人（スタッフを含む）

月	主な作業	参加人数
5	年間活動確認、木札づくり	27
6	丸太切り、オタマジャクシ観察	19
8	セミ羽化・カラスウリ観察	15
9	どんぐり拾い、カエル調査	29
10	ネイチャークラフトづくり	16

月	主な作業	参加人数
11	定点観察、土中の生物	21
12	落ち葉さらい、焼きいも	10
1	定点観察、竹食器づくり	11
2	活動の振り返り	16
3	竹釜で野外炊飯	19



里山の役割りを学びます



講師を招き、土の中の生きものを知る



川辺に出て野鳥観察です

参加者合計 約350人

## 再生可能エネルギー部会

### ☆DVDの制作☆

活動実績をDVD映像としてまとめました。

(環境学習センター  
展示室で放映)

### 部会活動さらに活発に

栃木県における「再生可能エネルギー」に注目し、その確実な進展に向けて市民とともに学び・発信していこうと、2012年度部会が設立されました。年々に部員も増え、2018年度末時点12名で構成されています。

#### ① 月例勉強会+イベント企画

毎月1回(原則第3土曜日)、環境学習センターで実施し講師を交替でつとめながら研鑽を積んでいます。  
テーマは、第5次エネルギー基本計画の評価、来年度学習センターで開催される環境大学「再エネと環境」の企画、来年度から実施予定の「小学校出前講座」のシナリオづくりなどでした。



プロジェクターを使った勉強会

#### ② 「我が家のエネルギー消費」を調査研究

部員各家庭のデータを集め、エネルギー消費量比較、二酸化炭素発生量比較などを行いました。宇都宮市環境基本計画「世帯当りの二酸化炭素排出量32年度目標」を各家庭ともすでにクリアしています。来年度開催される環境大学の中で研究成果を発表する予定です。

#### ③ 広報用DVDの制作

教育的要素を取り込んだもので、部会活動の紹介、地球温暖化とは、栃木県内の再エネ導入実態の紹介なども取り入れ、ナレーションも入った本格的なものです。



広報用DVDの一場面

#### ④ 宇都宮市と意見交換

7月再エネ部会は、宇都宮市環境政策課と「29年度環境状況報告書」の内容について意見交換を行いました。主なテーマは温室効果ガス削減目標の評価方法の難しさと解決策でした。市民によりわかりやすい形での情報発信など前向きな意見交換をすることができました。



熱心に意見交換を行う

(①・②・③・④ 延べ参加人数 120人)

#### ⑤ 各種イベントに出展し再生可能エネルギーを普及

8月「チャレンジもったいない」グライダーをつくろう/	スタッフ6人	参加者68人	主催：環境学習センター
12月「エコテック&ライフ」風速計をつくろう/	スタッフ4人	参加者69人	主催：県温暖防止センター
3月「エコまつり」カモメすいすいをつくろう/	スタッフ7人	参加者98人	主催：環境学習センター

#### ⑥ バスで行く再エネ施設見学会(環境学習センター支援事業)

例年どおり事前調査・調整から当日運営まで幅広く担当しました。今回は「熱に注目！」して、さくら市のバイオマス給湯、大谷地下冷熱を見学しました。バスの中では、再エネ部員によるミニ講義も実施しました。

3月15日(金) 9:00~16:45  
スタッフ2人 参加人数35人



新しいビジネスとなる冷熱供給設備の前で説明を聞く

参加者合計 約410人

## その他の活動

- ① 街中の野鳥観察会 12月8日(土)  
 栃木県中央公園(睦町) 9:00~11:00  
 参加者数 75人(スタッフ含め)

曇り空でやや寒い状況でしたが紅葉の美しい中、日本野鳥の会栃木の支援をいただき、観察会を行いました。街の中の観察会は大人気で多くの親子が参加してくれました。確認された鳥は、昨年を少し上回る16種でした。池の島に植えられたドウダンは真っ赤に紅葉し、その上で遊ぶジョウビタキはとても絵になりました。



スタッフの説明に見上げる参加者たち

- ② プチ農業体験プロジェクト(地域活動支援事業)

地元さつきのプロジェクトチームとの共催で、農家の畑をお借りして実施しているプロジェクトは今年で7年目を迎えます。今年度も、「みんなと私の野菜畑」として野菜づくりと自然観察に挑戦しました。7年間累計の参加者は1900人を超えました。今回で最終回とする予定でしたが、親子で汗をかきながら自然に触れるこの企画は大変な人気があり、どのように続けられるか検討中です。

5月イチゴ摘み・落花生の植え替え・看板設置	50人	9月カエル調査・新米を羽釜で炊いて食べる	50人
6月オタマジャクシの観察・ジャガイモ掘り	60人	10月落花生の収穫と試食	50人
7月サツマイモの苗植え・ソーラーッキング	40人	11月サツマイモ掘り・たき火で焼いも	40人
8月スイカ収穫(13個)とスイカ割り	30人	12月クリスマスリースづくり	40人
延べ参加者360人(親子)(スタッフ含む、準備作業含む)			



新米を羽釜でたいてみんなで食べました



←サツマイモのツルで  
リースづくり

サツマイモの苗植え

- ③ ゼロ円キッチン映画会とワークショップ  
 6月23日(土) 13:30~16:00  
 宇都宮市環境学習センター(茂原町)  
 参加者 75人



宇都宮大学生の提案を受け、フォーラムが主催する形で映画会とワークショップを開催しました。今、社会的課題である食品ロスを扱うドキュメンタリー映画で、鑑賞後のワークショップも盛り上がりました。多くの市民、大学生の参加があり、明日からの行動につながる意義ある事業になりました。

また、イベント紹介のためミヤラジに出演したり、企画した宇大生が本事業を卒論に取り上げ成果を発表するなど、広がりを見せています。



第2部ワークショップの風景

## 学習センター事業部

### 平成 2018 年度の年間利用者は、過去 2 番目の記録

2018 年度の年間利用者数は 36,118 人で、前年度に比べ少し減少しましたが、2 年連続で 3 万 5 千人の大台を超えました。

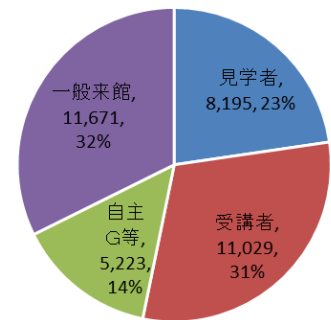
### 12 月に累計利用者 50 万人を達成

平成 2001 年開設以来、17 年 9 ヶ月となる 2018 年 12 月に、累計利用者 50 万人を達成しました。

### 環境学習講座をフォーラムも支援

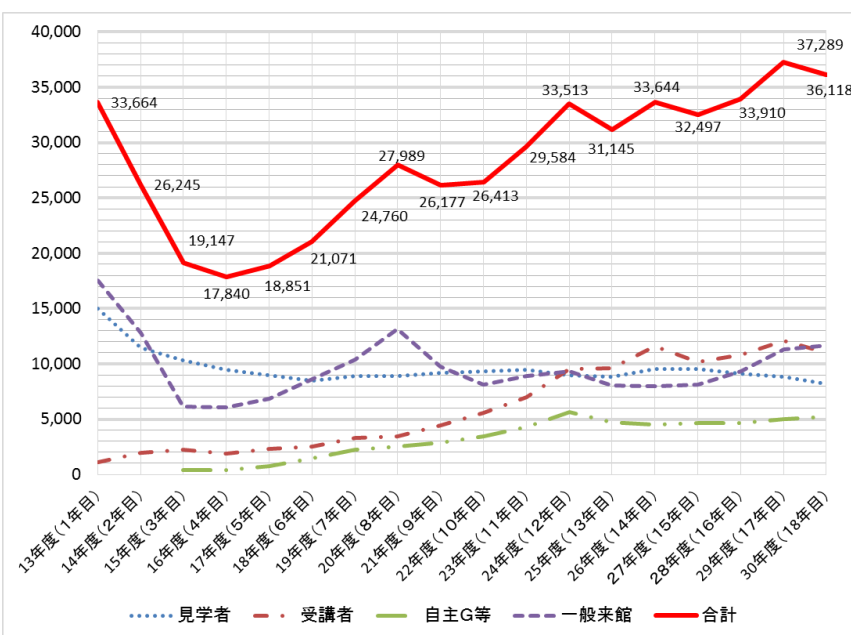
主力事業である講座の利用者は、11,029 人で全体の 31% を占めていますが、フォーラムでも「こどもエコクラブ」や「施設見学会」など多くの講座の運営を支援していただき、利用者の増に繋がっています。

### 利用者内訳



年間利用者数 36,118 人

### 年間利用者の推移



「エコまつり2019」は 2,418 人の方々が来館し、各ブースは大盛況でした。50 万人達成の記念式典も行いました。

### ① 環境学習機会提供機能

□「地球温暖化」、「生物多様性」を主軸に、様々な講座を開催しました。

◆環境大学（前期・後期 各5回シリーズ）

◆生物多様性連続講演会（2回開催）

「消えゆく生きものたち・昆虫類（栗原隆氏）、「消えゆく生きものたち・地衣類等（坂井広人氏）」



前期「森林と環境」  
栃木県林業センター



後期「東日本大震災を風化させない」  
栃木県防災会館





- ◆地球温暖化対策に取り組む施設見学会（3月）  
/フォーラムの再生可能エネルギー部会が企画運営/  
先進のバイオマスエネルギー及び冷熱エネルギー施設見学
  - ①株タカノ ②もとゆ温泉
  - ③冷熱エネルギー利用実証実験場
  - ④冷熱供給拠点、⑤大谷夏いちご（夏おとめ）栽培

□自然と触れ合う体験型講座も多数実施しました。



大谷夏いちご栽培（冷熱エネルギー利用）



キノコを探そう（6、10月）



渡良瀬遊水地（4、6、10月）



足尾植樹（4、8月）

## ② 活動支援機能

### □自主グループ

講座卒業生で構成される自主グループは、13グループまで増え活動を継続しています。当センター最大のイベント「エコまつり」では、無料体験コーナーを企画運営していただき人気を集めています。今年度は、2日間で1,162の方が体験しました。

### □2つのこどもエコクラブを運営

「環境未来館こどもエコクラブ」と「みずほの自然探検隊」の2つのこどもエコクラブを運営し、環境に関する幅広い活動をしました。かぶとむしプロジェクトを含め31講座を実施するとともに、地域事務局企画も行い、市内こどもエコクラブとの交流も図りました。



未来館エコクラブ、みずほの自然探検隊

## ③ 交流促進機能

### □「チャレンジもったいない2018」を開催（8月）

猛暑の中、732人もの親子が参加しました。夏休み終盤の土曜日1日をオープンハウスとして、夏休み宿題にもなるリサイクル工作を中心にした12の体験型ブースを出展しました。

### □釜川小水力発電を実施（12月）

宇都宮工業高校と連携し、廃棄自転車を利用した小水力発電装置を製作、釜川に設置しました（7年目）。今年是小水力発電のほか、太陽電池パネル発電も設置し、ハイブリッド発電にリニューアルしたところです。発電した電力を利用した綺麗なイルミネーションに子どもたちも大満足でした。（朝日新聞取材あり）

### □「エコまつり2019」を開催（3月）

10回目となる「エコまつり」は、2日目が終日雨となりましたが、2,418の方が参加しました。（前年比516人減）  
「来て・見て・体験して・エコを感じて」をコンセプトに19にも及ぶ無料体験コーナーを出展し、見学・ミニ新幹線等乗車を除き、延べ2,082の方に体験してもらい成功裏に終わることができました。（下野新聞取材あり）



チャレンジもったいない2018



ミニ新幹線（宇工）

## ④ 情報提供機能

### □ホームページをフル活用

ホームページを活用し、情報発信力を強化しました。また、フェイスブックにより、講座やイベント等の旬な情報をリアルタイムで提供してきました。

## ⑤ 体質強化機能

### □職員の教育研修を実施

毎月1回以上職員教育を実施し、職員のスキルアップに努めるとともに、毎日、朝会、夕会を実施し、情報の共有化等を図ってきました。